

生徒朝会 新生徒会 2 回目の実施 11月28日(水)

本校では、月 1 回生徒朝会を朝実施しています。朝会では、生徒会長の話、各専門委員長から目標に対する反省と次月の目標を話しています。新生徒会になって、2 回目の生徒朝会でした。

最初に、司会の副会長「稲葉 杜真」さんの立腰の掛け声から静かに始まりました。次に、生徒会長「太田 祈」さんが、期末テスト終了にふれ、「テスト結果がよかった人もそうでなかった人もいます。しっかり反省をして、次に備えましょう。」と3年生には受検への心構えと1・2年生には、授業を大切することを訴えました。

各専門委員会の月目標と主な実践方法を紹介します。

生徒会	責任者	月目標	主な実践方法
生徒評議会	太田 祈	受験に向かう3年生を応援しよう	部活動に動画撮影
学習・文化委員会	浜崎 由花	ノーチャイムで時間を意識して行動しよう	2分前に委員が呼びかける
生活美化委員会	中川 幸郁	大掃除をしよう	準備と美化コンクールの実施
保体・給食委員会	千葉 来那	クラスマッチを成功させよう	種目決定と当日運営
人権委員会	岩田 佳東	人権を考える会を成功させよう	考える会を成功させる
図書委員長	中尾 俊貴	本の歴史を知ってもらう	委員が本の歴史をまとめる

また、校長が、2 学期の取り組んでほしいこととあげている、『朝ごはんを食べよう』と『学習時間を増やそう』

学習文化委員会 調査			
学習時間	1年	2年	3年
30分未満	12	8	2
1時間～2時間	13	10	10
3時間～4時間	6	1	6
5時間以上	1	0	5
計	32	19	23
回答率	74%	56%	51%

に関わって、調査をしてもらいました。

学習文化委員長には、期末テスト最終日の前日(11/23)の祝日どれだけの時間を学習したのかを調べもらいました。その結果が左の表になります。さすが3年生、5時間以上学習した人が多かったことをよかったことだと思います。全学年に言えることですが、最終日に3教科のテストがあったことを考えると回答したほとんどの人が1教科1時間も学習していないことがわかります。全国平均は、平日1時間以上が7割です。佐志中でテスト直前の学習を毎日やっていることになります。

保健給食委員会では、10月に生活習慣アンケートを行っていました。その調査結果は下の表になります。

	朝ごはん	就寝時刻		起床時刻	
		ほとんどの人	一番早く寝た人	ほとんどの人	一番早く起きた人
1年	2人以外は全員食べた	22時30分	19時30分	7時	5時
2年	大体の人が食べた	24時	20時	6時30分	4時30分
3年	大体の人が食べた	23時	20時	6時30分	4時

全国平均と比べると2年生の寝る時間が遅く、睡眠時間が不足しています。就寝時間をあと1時間程早くする必要があります。また、起床時間で早く起きる人の時間には驚きますが、全体としては、全国平均が6時34分となっていることを考えると全国平均並みとなります。全校生徒の登校時間となると少し遅い気がしています。

また、朝ごはんの結果がはっきりとわからなかったため、保健給食委員長に調べてもらうと110名中95%が朝食をとっていました。また、6人が朝食をとれていません。生徒のみなさん100%を目指しましょう。

各種検定試験 佐志中生徒頑張っています 今後受検の検討を

右の写真は、1 学期の漢字検定に取り組んでいる写真です。国語科の教員が事前に受検したい人を募り、本校で放課後に実施しました。

2 学期の実施した検定と期日は次のとおりです。会場は佐志中です。

教科	期日	受験者
英語	9月29日(金)	3年8名 2年3名
漢字	11月10日(金)	3年5名 2年1名 1年4名
数学	11月10日(土)	3年2名



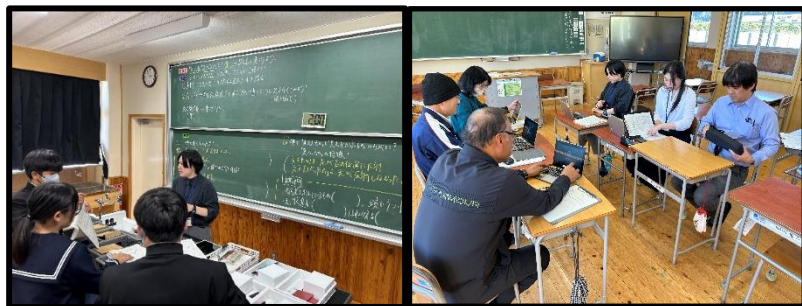
検定料は、保護者負担となりますが、生徒が自ら受検希望することにより、なぜ学習するのかを明確にすることになります。また、取得した資格は、高校入学試験や就職するときの履歴書に記入できることとなります。

唐津市青少年意見発表大会

唐津市青少年意見発表大会が、11月11日に唐津市高齢者ふれあい会館”りふれ”で開催されました。佐志校区では、隔年で小中が入れ替わって出場しています。令和5年度は、佐志中3年生「川地 慎」さんが『僕が見た世界 日本から世界へ』と題し、意見発表を行いました。今夏ニュージーランドに留学した経験をもとに、世界平和に向けた日本の役割を発表しました。裏面に全文を載せています。是非ご覧ください。



校内授業研究会 開催 「先生たちも研鑽しています。」



本校では、「思考力・判断力・表現力を高める指導法の研究」をテーマに掲げ、授業改善を行っています。授業公開後に、本校職員で授業ももとの改善の方向性を探っています。

11月8日(水)に1年2組では理科の授業「光の性質」(中島 春奈教諭)【左の写真】、1年1組では、国語の授業「竹取物語」(前川

千夏教諭)を行いました。授業後の研究会では、国語グループでの役割の持たせ方、理科グループ【真ん中の写真】ではワークシートの作り方等の研鑽を行いました。1年生の生徒の皆さんも、いい姿を見せようと張り切っていました。3学期には、2年生が公開予定です。2年生生徒の皆さんの頑張りに期待しています。

唐津地区社会科部会授業研究会 開催



11月20日(月)に唐津地区の社会科(公民分野)の先生方が、本校にいられて、3年1組で野口 純一教諭の授業をもとに研究会が開催されました。

この授業では、「どのような取り組みをすれば、男性の育児休暇取得率を向上させることができるか」の問いを大切にして、生徒一人一人が向上させる方法を考え、グループごとに意見をまとめ、全体の場で発表を行いました。意見発表では、一人一台端末【タブレット】でまとめています。1年生から活用してきているので、見事に使いこなしています。また、他の学校先生からは、「あの子発表の姿は非常に社会科で育てたい姿であり、素晴らしい。」とお話されたとお聞きしました。

今、日本の身近の問題はいくつあるだろうか。私は大量にあると考える。なぜなら、問題には大きなものや小さいものがあり、細かいものが多いと思うからだ。ではその問題を解決するためにはどんなことが大切なのだろうか。今日はそれを考えてみたい。

私は問題を解決するために大事なことを知るためには日本以外の国と比較をすればよいと考えた。そして今回はニュージーランドを参考にしてみようと思う。

日本の問題解決について考える前に皆さんはニュージーランドという国をよく知っているだろうか。ニュージーランドは南半球のオセアニア州に属しており、日本と同じ島国で、地図をよく見ると北の島と、南の島で分かれているのが特徴だ。また、言語は英語であり、海外留学に人気の国の一つとしてよく知られている。私はこの夏、ニュージーランドに短期留学に行き、ニュージーランドという国についてよく知る機会があったので、日本と比較してみようと考えた。

私がニュージーランドに到着して最初にイメージは「明るい」だった。ニュージーランドではコロナウイルスが消えつつあり、マスクをつける人も見渡す限りいなかった。そのこともあってか、ニュージーランドはコロナ前のような明るい生活に戻りつつあったためだと私は考えていた。そんなことを考えながら生活していると、ニュージーランドの学校に行くことになった。学校初日、緊張しながら学校に行くと、私に気づいた生徒は明るい雰囲気を出迎えてくれた。握手をしてくれる人もおり、さらには日本語で挨拶をしてくれる人もいて、私はすごく嬉しくなった。緊張していた私にとって歓迎されたことはすごく嬉しかったからだ。その時、ニュージーランドの人は明るくて、誰にでも優しく接してくれる人が多いことに気づかされた。

私が学校で歓迎された後、学校でも外でも私のような外国人を多く見かけた。そのことからニュージーランドという国は外国から人気で積極的に交流している国だということがよくわかった。ニュージーランドは外国との関係をよくしており、実際に平和な国になっている。では、日本やその周りはどうだろうか。日本の周りには危険な要素が多く、北朝鮮からのミサイルや、第三次世界大戦になりかねない戦争が隣の大陸では起こってしまっている。

ではそのために私たちがすべきことは何なのだろうか。ニュージーランドでは外国との交流を深めることによって、ニュージーランドという国のイメージが良くなっている。そのことが大切なのではないだろうか。私がこの夏留学した時の現地の方の様子を知ることによってニュージーランドに良い国のイメージが定着した。その行動を日本は見習うべきだと考える。

これから日本は平和な世界を導くような国にならないといけない。しかし、日本に悪いイメージが定着すると、世界の平和が乱れてしまう。そのため、世界の平和が乱れてしまう。そのため、世界中の国や人々の関係を深め、支え合っていくことが大切である。そのために国全体でよい日本を作り上げ、世界に広めていかないといけない。そして私含め日本国民全員がニュージーランドのような、明るく、平和な雰囲気を作ることに努めていかなければいけない。いつか世界全体で協力し、国際関係が深く、平和な生活を全世界が送ることができる毎日が来ることを祈って。